

平成 22 年 6 月 16 日  
独立行政法人経済産業研究所

### 【民間競争入札実施事業】

経済産業研究所ホームページ中国語サイトのコンテンツ翻訳・更新業務の実施状況  
(平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月) について

## I 事業の概要

### 1 事業概要

経済産業研究所ホームページ日本語サイトに掲載されたコンテンツのうち、中国語サイトに掲載する必要のあるコンテンツについて中国語への翻訳作業（1 週間当たり平均 3～4 本記事）及び中国語コンテンツのウェブ制作・公開作業、中国語ニュースレター「電子情報」の作成等（月 1 回）。

### 2 契約期間

平成 21 年 6 月 1 日から平成 23 年 5 月末日

### 3 受託事業者

株式会社 アイデア・インスティテュート

### 4 契約金額

16,693,950 円（税込み）

※ 業務委託期間（平成 21 年 6 月 1 日から平成 23 年 5 月末日の 2 年間の総額）

## II 確保されるべき質の達成状況、業務の実施状況及び評価（平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月）

### 1 日本語サイト掲載から中国語サイト掲載までの期間

日本語サイトに掲載されたコンテンツについて、以下の期間中に中国語に翻訳し中国語サイトに掲載すること。

- ・ 2,000 字以内のコンテンツ：日本語サイトに掲載された日から 8 営業日を過ぎた日の翌週の木曜日迄
- ・ 2,001 字以上 4,000 字以内のコンテンツ：日本語サイトに掲載された日から 15 営業日を過ぎた日の翌週の木曜日迄
- ・ 4,000 字以上のコンテンツ：日本語サイトに掲載された日から 30 日以内

(1) 実施状況

業務の基本的な流れは次のとおりである。

週に1回、委託先より中文サイト翻訳制作計画書が送られてくる。その計画書を当研究所で確認した後、アイデアは翻訳作業及び制作作業にとりかかり、翌週木曜日にホームページを更新する。

平成21年6月1日～平成22年5月末までに翻訳・掲載されたコンテンツ<sup>1</sup>は以下のとおり。

HP 中の大項目	中国語翻訳が必要なコンテンツ	一年当たりの予定翻訳コンテンツ数	実施数	実施率
研究テーマ	プロジェクト概要と成果	1	2	200%
論文	DP・PDP の概要	50	63	126%
出版物	各種出版物の紹介	6	8	133%
イベント	BBL の議事録・シンポジウム開催概要	20	25	125%
寄稿・企画	「実事求是」	12	15	125%
寄稿・企画	コラム	20	24	120%
寄稿・企画	新聞雑誌への寄稿	40	41	102%
寄稿・企画	「時事專訪」	12	0	0%
計		161	178	110%

<sup>1</sup> 上記合計のうち、中文サイト掲載時に和文サイト未掲載のコンテンツがあった。

また、掲載までの期間<sup>2</sup>の達成率は以下のとおりである。

	達成	未達成	合計	日数目標達成率
2000 字以内	70	0	70	100%
2001～4000 字	74	0	74	100%
4000 字以上	34	0	34	100%
計	178	0	178	100%

## (2) 評価

翻訳数、掲載までの期間ともに、達成できており、評価できる。

## 2 中国語翻訳の質の確保

中国語翻訳の原稿である日本語コンテンツの内容が、中国語サイト閲覧者に正確かつわかり易く伝わるよう翻訳の質を確保すること。

### (1) 実施状況

委託先では、次の体制で本業務を実施し、翻訳の質を確保することとしていた。

- ・翻訳業務担当者は3名(経済学修士を持ち、経済分野を専門とする翻訳実務経験20年以上のベテランを含む)。
- ・ベテランのネイティブチェッカーによるチェックを行う。

しかし実際には、翻訳開始当初に専門用語のミス等が見られたため、「毎月ランダムに中国語のチェックを行う」という予定を改め、すべての中国語訳について当研究所の中国人スタッフ(非常勤職員。経済学修士を持ち、翻訳経験約20年)がチェックすることとした。

なお、実施要項等では一定量のミス(誤訳、誤字・脱字)が継続した場合には報酬の減額が可能である旨明記しているが、この条項を発動することは無かった。ただし、委託先に出席を求めているホームページ編集会議(月1回程度開催)の場において、計3回(21年6月・8月及び22年3月)、当研究所から翻訳の質の改善を委託先に求めた<sup>3</sup>。

<sup>2</sup> 仕様書では、日本語サイトに掲載されてから最低8営業日等と明記していたが、本表では当研究所側が翻訳制作計画書を確認する時間は、上記営業日の日数からは除外して計算している。これは、①委託先が作成した翻訳制作計画書を当研究所側が確認するにも若干の時間を要すること、②日本語サイトに新たに掲載されたコンテンツのみならず、過去のコンテンツや、当研究所の日本語サイト以外のコンテンツ(研究員の雑誌での連載等)を翻訳するケース等があったためである。

<sup>3</sup> 中国語への翻訳チェック(誤訳、誤字・脱字等の指摘)は、委託先及び当研究所中国人スタッフの間で随時行われている。上記の3月は特に指摘すべき事項が多かったために、本編集会議の場でも翻訳の質の改善を提起したものである。

## (2) 評価

今回の委託先の翻訳の質は、委託先が作成した翻訳原案のままでは要求している水準を確保しているとは言いがたいものの、当研究所中国人スタッフのチェックを経ることにより、結果としては要求水準を満たすものとなっている。

なお、実施要項においては当研究所は「ランダムに中国語のチェックを行う」に止める予定であったものを、実際にはすべての中国語訳について当研究所の中国人スタッフがチェックすることとしたが、これは現時点ではやむを得ない(必要な)措置であると考えている。

すなわち、当研究所の研究内容が(経済学中心ではあるものの範囲は広く、また政治学や社会学にもわたる)幅広くかつ専門的な内容であるため、適切な翻訳のためにはそれぞれの分野に関する専門的な知識に加え、これまでに当研究所ホームページ上に蓄積されている個々の翻訳に関する知識やノウハウが必要となる。しかし、これを新規の委託先自身が一時に身につけることは難しく、これまでの業務経験を有する当研究所スタッフが有する知識・ノウハウを用いることが合理的であろう。また当研究所のこれまでの経験では、チェック(監視)手順がない場合には、翻訳会社の翻訳の質は一定期間を超えると低下する傾向が英文翻訳でも見られるところである。

よって、翻訳の質を確保するためには、当研究所側において常時質をチェックする体制を採ることが必要だと考えられる。

## 3 中国語ニュースレター「電子情報」の作成状況

入札の仕様書にある通り、月 1 回、計 12 本問題なく制作された。

## 4 アクセス数

平成 22 年度の中国語サイト TOP ページアクセス件数は 67,262 件。

前年度のアクセス件数 67,915 件とほぼ横ばいである。

## III 実施経費

平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月の経費と平成 20 年度及び 19 年度の比較は以下の通りである。

## (1) 実施状況

[平成 19 年度]

従来の実施経費<sup>4</sup>

合計 13,769,000 円

[平成 20 年度]

中国語翻訳費 2,452,000 円

派遣職員費 4,252,000 円

非常勤職員人件費<sup>5</sup> 2,444,000 円

合計 9,148,000 円

[平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月]

委託先に支払った金額 8,316,000 円

非常勤職員人件費<sup>6</sup> 2,457,000 円

合計 10,773,000 円

## (2) 評価

平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月の支払金額は 8,316 千円であり、従来の実施経費(平成 19 年度の実績)と比較すると、5,453 千円のコスト削減となった。しかし、委託先が作成した翻訳原稿を当研究所の非常勤職員がチェックするコストを含めると、2,996 千円のコスト削減にとどまる。

なお、平成 20 年度と比較すると 1,625 千円の増となっているが、平成 20 年度の翻訳費は例年の半額程度と例外的に低水準になっている。このため、平成 20 年度との比較をもって直ちにコストが上昇したと結論づけることは適当ではない。

## IV 評価のまとめ

翻訳の質の確保に関しては、研究所側において常時質をチェックする体制を採ることが必要ではあるが、結果的には一年間を通して中国語サイトに掲載されたコンテンツ数、掲載までの期間、中国語ニュースレターの制作について問題なく実施できており、評価できる。

<sup>4</sup> 「従来の実施状況に関する情報の開示 1 従来の実施に要した経費 計(a)」に「参考値(b)」中の「退職給付費用」を加算した額。

<sup>5</sup> 20 年度、21 年度ともに、人件費には法定福利費を含む。

<sup>6</sup> 21 年度(21 年 4 月～22 年 3 月)の額。